

## ヒト膵がん患者由来細胞を用いた分子細胞生物学的研究

### 1. 研究の対象

下記のいずれかの研究に参加され、遺伝子検査、臨床情報および検体を他の研究に使用（二次利用）することに同意された患者さんを対象としています。

- 【1】 「固形がんにおける抗腫瘍免疫応答の解明と併用療法開発に関する研究」
- 【2】 「固形がん患者の腫瘍および正常臓器由来のオルガノイドパネルの樹立に関する研究」

### 2. 研究の概要

研究期間： 所属機関の長の研究実施許可日～2029年3月31日

研究目的： 本研究の目的は、難治性のがんとして知られる膵がんの患者さんごとのがんの性質を分子細胞生物学的な観点から詳細に解析することを目的としています。

研究方法： 本研究では、大阪国際がんセンター、京都大学およびエーザイ株式会社によって樹立された膵がん患者由来細胞のほか、大阪国際がんセンターの「固形がんにおける抗腫瘍免疫応答の解明と併用療法開発に関する研究」(承認番号:18118)および「固形がん患者の腫瘍および正常臓器由来のオルガノイドパネルの樹立に関する研究」(承認番号:18231)で樹立された細胞を用い、以下のさまざまな分子細胞生物学的な手法によってその性質を明らかにします。具体的には、①細胞培養、②遺伝子導入実験、③DNA, RNA, タンパクを対象にした生化学実験、④RNA やタンパク質の網羅的発現解析、⑤マウスへのがん細胞の移植実験、⑥培養細胞、生体マウスのライブイメージングを行い、得られたデータを統計学的に解析することで、がんの分子、細胞レベルの変化とがんの性質との関連を明らかにします。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

【試料】 手術または検査の際に採取された血液、がん組織および他の体液の残余検体

【情報】 がんの診断名、年齢、性別、喫煙歴、検体の採取日、がんの治療歴など

### 4. 外部への試料・情報の提供

解析に必要な最小限の試料を国内の試料解析機関に提供し、解析を行います。試料解析機関で試料の保管を続けることはなく、解析後は速やかに試料を廃棄します。解析結果と研究に必要な最低限の臨床情報が、国内外の解析の専門会社に提供されますが、患者さんの氏名や住所といった個人情報提供されることはなく、氏名の代わりに付けられた登録番号が提供されます(匿名化)。

今の時点では、国外にあなたの臨床情報や遺伝子の検査結果が提供されるかどうかは決まっていますが、氏名や住所といった個人情報提供されることはなく、情報が提供された国の個人情報の保護に関する制度に従い、臨床情報や遺伝子の検査結果は厳重に管理されます。この研究の結果は、学術論文や学会等で発表します。また本研究で得られた検査結果を、公的なデータベース等に公開することがありますが、患者さんの名前や個人を識別できるような情報が使用されることはありません。患者さんのプライバシーは厳重に守られます。

## 5. 研究組織

主たる研究機関及び研究代表者

地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪国際がんセンター研究所 腫瘍増殖制御学部 平塚 徹

共同研究機関及び研究責任者

国立研究開発法人国立循環器病研究センター 望月 直樹(同施設での動物実験施設および共同顕微鏡施設の利用における責任者)

既存試料・情報の提供のみを行う機関

エーザイ株式会社 小山 彰比古 試料の提供  
京都大学大学院医学研究科腫瘍生物学 垣内伸之

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 研究所 腫瘍増殖制御学部

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者：平塚 徹

-----以上